

鉄道構造物等設計標準・同解説（耐震設計）（H24年9月）、（コンクリート構造物）（H16年4月）、（鋼・合成構造物）（H21年7月）、（鋼とコンクリートの複合構造物）（H28年1月）、（基礎構造物）（H24年1月）、（土留め構造物）（H24年1月）に準拠

# Input-JR

## データ入カツール(Ver.5.1)

### 【特徴・用途】

本ツールは JRSNAP のオプションとして、JRSNAP 解析用入力データを画面対話形式で作成することができます。CAD ライクでの構造骨組線の設置、部材要素の自動分割と番号の生成、部材非線形特性の自動設定、荷重図や構造物形状・寸法の表示および荷重組合せケースの設定等の主な機能があります。[詳細は「JRSNAP とオプションの更新一覧」をご覧ください。](#)

The screenshot displays the main interface of the Input-JR software. On the left, a vertical menu lists various design programs: JRSNAP (静的非線形解析プログラム), JRBOX (開閉トンネル設計プログラム), JRKK (鋼管矢張基礎設計プログラム), JREP (杭土留構造物設計プログラム), JRCS (ケーソン基礎設計プログラム), Input-JR (本ツール), Output-JR, Soil-JR, ReDisp-JR, LiJudge-JR, JRElastic, and VePP-R. Below these are standards: RC標準, 開閉トンネル標準, 耐震標準, 基礎標準, and 鋼標準. The main window shows a grid with numbered nodes and elements. A '要素自動分割' (Automatic Element Division) dialog is open, showing a table of element lengths and counts. A '部材断面詳細' (Member Section Details) dialog is also open, showing cross-section diagrams and material properties. A '解析条件' (Analysis Conditions) dialog is visible at the bottom left.

### 【動作環境】

- ① O S : Windows7®、Windows8®、Windows10®(タブレットモードを除く・Ver. 5.1-L02 以降)
- ② C P U : 1 ギガヘルツ (GHz) 以上のプロセッサ(2.0GHz 以上を推奨します)
- ③ メモリ : 1 ギガバイト (GB) 以上 (2.0GB 以上を推奨します)
- ④ プリンター : OS の動作環境に対応した機種
- ⑤ その他 : インターネットへ接続できる事(ライセンス認証用)

●開発：公益財団法人鉄道総合技術研究所

●発行：(株)ジェイアール総研エンジニアリング(ソフト販売窓口)

〒185-0034 東京都国分寺市光町 2-8-38

TEL 042-575-3821 E-mail [support\\_sale@jrseg.co.jp](mailto:support_sale@jrseg.co.jp) URL <http://www.jrseg.co.jp/>